

News Release



KANAZAWA
UNIVERSITY
平成23年10月11日

各報道機関文教担当記者 殿

10/29 東京でもシンポジウムを開催!!

金沢大が最先端の研究を紹介

この度、金沢大学では、本学が有する世界に誇る最先端の研究を紹介するシンポジウム金沢大学創基 150 年記念「講演会・シンポジウム」シリーズ「金沢大学未来開拓研究公開シンポジウム—Features for the Future フィーチャーズ・フォー・ザ・フューチャー—」を10月1日・大阪に引き続き、10月29日・東京で開催いたします。

入場無料

金沢大学創基 150 年記念「講演会・シンポジウム」シリーズ

—Features for the Future フィーチャーズ・フォー・ザ・フューチャー—

■第4回金沢大学未来開拓研究公開シンポジウム

日時 平成23年10月29日(土) 13:00~16:40

場所 学術総合センター(東京都千代田区一ツ橋 2-1-2)

テーマ 「新研究領域を拓く—若手研究者による挑戦—」

本学は「社会のための大学」として、基礎研究から実践研究までの卓越した知の創造に努めるとともに、新たな学術分野を開拓し、技術移転や産業の創出等を図ることにより、積極的に社会に還元しています。

については、事前報道及び当日取材について、どうぞよろしく願いいたします。

本件照会先：金沢大学総務部総務課長 那加野
Tel：076-264-5006

担当：金沢大学広報戦略室 松本
Tel：076-264-5024

Features for the Future

フィーチャーズ・フォー・ザ・フューチャー

第4回

金沢大学 未来開拓研究 公開シンポジウム

新研究領域を拓く —若手研究者による挑戦—

2011
10.29 Sat

13:00~16:40

[会場]

学術総合センター2階 中会議場

東京都千代田区一ツ橋 2-1-2

入場
無料

- 13:00 開会挨拶
- 13:10 講演
井上 啓 フロンティアサイエンス機構・特任准教授
「インスリンによる肝臓での糖産出抑制機構」
- 13:50 講演
福岡 剛士 フロンティアサイエンス機構・特任准教授
「液中ナノイメージング技術の開発と
バイオサイエンスへの応用」
- 14:30 休憩
- 14:50 特別講演
金子 周一 医薬保健研究域医学系・教授
「肝臓：人体の生化学工場が果たす役割」
- 15:50 講演
松木 篤 フロンティアサイエンス機構・特任助教
「東アジアは大気エアロゾルのるつぼ」
- 16:30 閉会挨拶

第4回 金沢大学未来開拓研究公開シンポジウム

日時 2011年10月29日(土)
13:00~16:40

[テーマ]

新研究領域を拓く —若手研究者による挑戦—

金沢大学が有する世界に誇る先端研究を紹介するシンポジウム「第4回 金沢大学未来開拓研究公開シンポジウム」を開催します。

本学では、2007年度に先端科学分野における若手研究者育成を目的した文部科学省の科学技術振興調整費「若手研究者の自立的な研究環境整備促進プログラム」が採択され、5年間の支援を受けています。

本年度は、同プログラムの最終年度にあたり、同プログラムで萌芽した世界をリードする可能性のある研究を紹介します。

講演要旨

「インスリンによる肝臓での糖産出抑制機構」

井上 啓 フロンティアサイエンス機構・特任准教授

肝臓の糖産生制御機構、特にインスリンによる肝糖産生の抑制メカニズムを理解することは、2型糖尿病を始め、インスリン抵抗性を介して発症する様々な疾患の原因解明につながる。新たにわかった事実をもとにして、新しい糖尿病の治療法開発につなげる可能性を探る。

「液中ナノイメージング技術の開発とバイオサイエンスへの応用」

福岡 剛士 フロンティアサイエンス機構・特任准教授

近年、ナノテクノロジーの中核を担う技術としてナノ計測技術が目覚ましい発展を遂げてきた。最近では、ナノ計測技術を、バイオサイエンスの分野へと応用することで、従来技術では不可能だった細胞を構成する分子を単一分子レベルで計測分析しようとする動きが世界中で高まっている。私たちは、従来真空中で用いられてきた周波数変調原子間力顕微鏡(FM-AFM)と呼ばれるナノ計測技術を液中で利用できるよう改良し、それをを用いて生体膜やタンパク質の挙動を分子レベルで探求する。

「東アジアは大気エアロゾルのるつぼ」

松木 篤 フロンティアサイエンス機構・特任助教

黄砂などでよく知られる大気エアロゾル(大気中に浮遊する数ナノメートル(100万分の1ミリメートル)~数十ミクロンの微小な粒子)は、太陽光を吸収・散乱するばかりでなく、雲の粒ができる際の種(雲核)としても働くため、気候変動に大きく関わっている。日本海沿岸域での観測に基づいて、黄砂と汚染大気の間わり及びその気候・環境学的役割の解明を目指す。

特別講演 「肝臓：人体の生化学工場が果たす役割」

金子 周一 医薬保健研究域医学系・教授

人体は食物に含まれる栄養を効率よく利用し、食物の種類が変化しても同じような栄養状態を維持するように進化してきた。人類は農業技術の進歩によって飢餓を克服し、多くの人が飽食の時代に入った。しかし、進化によって得られた巧妙な人体の仕組みが、逆に現代では多くの疾病を発症させている。栄養の取り過ぎ(過栄養)が関連する症候群に糖尿病、脂質異常症、肥満、高血圧、最近ではがんも含まれる。過栄養と疾病との関連は、人類の進化と進歩のミスマッチとも言える。このミスマッチの解消は科学の進歩によって制御できる。すでに、これらの疾病と内臓脂肪との関連がよく示されてきた。

私たちは“過栄養状態における肝臓の変化を明らかにすることによって新たな肝臓病の疾病概念を確立するとともに、肝臓機能の破綻によって生じる栄養性肝代謝異常症の診断及び治療法開発”を行っている。その成果の一部として肝臓が新規の物質(ヘパトカイン)を血液中に放出し、糖尿病を悪化させることを明らかにし、また、血液中の遺伝子を測定することによって、がんを診断できる方法を開発し、生化学工場である肝臓の破綻と、肝臓から放出される物質が流れる血液、そして飽食の時代における疾病との関連をわかりやすく解説する。

ACCESS MAP

学術総合センター
〒101-0003
東京都千代田区一ツ橋2-1-2
TEL : 03-4212-6000 (代表)

東京メトロ半蔵門線、都営地下鉄三田線、都営地下鉄新線・神保町駅下車 A8出口から徒歩3分
東京メトロ東西線・竹橋駅下車 1B出口から徒歩4分

第4回 金沢大学未来開拓研究 公開シンポジウム参加申込書

参加無料

参加ご希望の方は、必要事項を記入の上、FAXにてお申し込み下さい。
電話・電子メール・Webでの申し込みも可能です。

シンポジウム申し込み締切

2011年10月24日(月)

お申し込み・お問い合わせ先：金沢大学 総務部 総務課 総務係

TEL 076-264-5010 FAX 076-234-4010

E-mail ffk@adm.kanazawa-u.ac.jp

※ご記入頂きました事項は目的以外の利用、第三者への提供はいたしません。

参加者氏名

職業

住所 〒

TEL

FAX

E-mail

@

次回以降のこのシンポジウム
に関するお知らせを

希望します / 希望しません